

令和4年度 自己評価

学校法人カトリック学園
認定こども園 カトリック明野幼稚園

1. 園の教育目標

神の愛に満ちた良心を育み、モンテッソーリ教育による意欲的に挑戦し、喜んで学べる子どもを育てる幼稚園教育要領で示されている「幼児の終わりまでに育ててほしい姿」に取り組む

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標

園生活の中でいろいろな人と触れ合い、関わりを深めるために、自分の思いや感情を自分なりの言葉で伝え、友だちの思いにも気づき、思いを共感できるようになる。教師はこどもからの言葉を待ち、思いを整理し、互いが共感できるように配慮する。

友だちと遊んだり、行事を楽しむ中で、一緒に協力したり、工夫したりして、充実感や達成感を味わう。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
教育課程	<ul style="list-style-type: none">認定こども園の状況を踏まえた教育目標・重点目標の設定年間指導計画の作成職員間の子どもに対しての共通理解各クラス・各横割の運営	各担当で話し合い年間指導計画、アプローチカリキュラムの作成を行った。 話し合った内容を記録し、参加していない職員にも共通理解ができるように工夫したがまだ周知できていないことも多かったので、職員間での連絡はアプリなどを使いやり取りができるように工夫していきたい。 各担当で指導計画をもとに話し合い、保育を実施した。	B
研修 (資質向上の 取り組み)	<ul style="list-style-type: none">教育の質の向上を図る園内研修園外研修	感染対策の為中止になった研修も多かったが、リモートなどを活用し保育の質を高めるように努力した。 今年度も研修に行っていない職員への周知が難しかったため、次年度からは時間をもうけ、周知出来るように努めたい。	C
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none">施設整備の安全、維持管理の為の整備遊具・用具・図書の整備	安全管理リーダー、防災管理リーダー、各クラスの担当が定期的に遊具や設備の点検をした。 すべての職員が防犯システムの操作できるように努める。	B
食育の充実	<ul style="list-style-type: none">食物の観察と収穫 (さつまいも)栄養士から食育指導を受ける	園の畑でさつまいもを栽培し、観察、収穫をした。 栄養士から食育指導を受け、毎日の献立表に子どもにわかりやすいように栄養素を表示したことにより、関心が高まった。	A

特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育の理解を深める ・ 該当児に対しての個別の配慮 ・ 医療・福祉などの関係機関との連携 ・ 家庭との連携 ・ 療育施設への見学 	<p>特別支援関係の研修に出席し、特別支援における質の向上を図った。</p> <p>気になる園児に対しては発達支援機関と密に連絡をとり、対応を協議した。</p> <p>職員、保護者、支援機関との話合いの場を設け、実施した。</p> <p>毎日記録を取るよう努めた。</p> <p>実際に子どもの様子を見てもらい、保護者と今後の保育について話あった。</p> <p>子どもにとってよりよい保育環境、カリキュラムを学ぶために他園に見学へ行き、実践した。</p>	A
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て相談の実施 ・ 未就園児登園の実施 ・ 子育て情報の提供 ・ 保護者による読み聞かせサークル 	<p>未就園児を対象につぼみ保育を実施した。</p> <p>園庭開放を行い、子育てや就園についての相談に応じた。</p> <p>保護者による読み聞かせサークルはコロナウイルス感染症が落ち着いてから実践した。</p>	B
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミルク献金 ・ 世界子ども助け合い献金 	<p>定期的に献金をつのり、シスターを通してネパールの子どもたちへ届けた。</p> <p>実際にきた手紙や写真を通して、自分たちと同年代の子どもたちにこころをよせた。</p> <p>カトリックの援助機関であるカリタスジャパンを通して世界の子どもたちの教育用品の購入などに協力した。</p>	A
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルス対応 ・ 家庭や医療機関等の連携 ・ 日常の健康観察、疾病予防 ・ 健康診断 ・ 事故等の緊急事態発生時の対応 ・ 職員の健康管理 	<p>コロナウイルス感染防止の為、園児・職員の日々の体温・体調を記入し管理を行った。</p> <p>学校薬剤師が定期的な検査を行い、園内の衛生管理を行った。</p> <p>内科・歯科の検診を行った。</p> <p>けが、体調不良などを把握するために、所定の用紙に記入した。</p> <p>毎年夏に職員の健康診断を行っている。</p>	A
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校防災計画等の作成、実施 ・ 危機管理マニュアル等の作成、活用 ・ 安全点検、教職員の安全対応能力の向上 ・ 学期に一回の交通安全教室の実施 ・ 安全運転管理者講習への参加 	<p>避難訓練を毎月行い、年に一度防犯訓練・引き渡し訓練を行った。</p> <p>今年度より、個人持ちの非常用備蓄品を購入してもらうようになった。</p> <p>交通安全教室を学期に一度開催し、子どもたちの安全意識を高めた。</p> <p>行事の時の保護者の駐車の方法を工夫した。</p>	A

保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事における保護者参加 ・ 園だよりの発行 ・ 登園・降園時 	学期に1度クラス懇談会を行った。 コロナウイルス感染症の状況をみながら、 見学を再開した。	B
---------	--	---	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	昨年度に引き続きコロナ禍の中、職員で話し合い工夫しながら行事を実施した。 特別支援を行っている園へ見学へ行くなど、特別支援教育への理解を深めた。

評価結果の表示方法

A＝十分達成されている B＝達成されている C＝取り組まれているが、成果が十分でない

D＝取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
研修報告・園内研修の実施	全職員の参加は難しいが、時間を設け取り組む。 来年度は職員間の連携がもっとできるように工夫したい。

6. 施設関係者評価 (年長保護者代表 2名)

保護者アンケートの集計を受けてのコメント

1	園児について	<ul style="list-style-type: none">・登園時にはその子によって喜んでいたり泣いたりする子を見かけます。喜ぶ子にはお友だちと一緒にいたり好きな先生に会えたりと見ますが、泣く子にはクラスの先生が来てくれたりとフォローもしてくれています。園での事もたくさん話す子も居ればいない子も居ます。自分の思いを声に出して言うと親も安心して園に預けるのではないかと思います。・園児は園の中でたくさん学んで、家に持ち帰っているのだなと思いました。テレビ、ゲーム、スマホなどのルールはコロナ禍もあり課題だな共います。
2	幼稚園について	<ul style="list-style-type: none">・プリント・HP はどちらかで良いのではないかとおられました。お仕事は集中しながら出来ており家に持って帰ると作品と一緒に「お仕事した」と言われると何をしているか分かりやすい。お仕事をすることでお友だちとのコミュニケーションも増えたり知識も得られ、出来なかった事が出来るようになったりしているので良い事ではないかと思います。・入園してよかったの集計結果も高く良いのではないのでしょうか。

学校評価アンケート・自己評価の結果を見てのご意見

<p>・評価を見てB.Cは厳しく見ているのではないかと思います。コロナ禍ではあったが幼稚園のイベントも行って頂き親(Aさんのメイン)が見学できて良かったと思いました。</p> <p>又、学校評価保護者アンケートの意見を見て、保護者が求める事が多いのではないと思いました。年齢の子どもの食事量はどのくらいが正しいか見てみたい→その子の身体によって違うので保健所などに聞くなどすべきだと思いますし、アプリ導入することで先生、保護者のコミュニケーションが減る原因にもなる可能性やアプリが苦手な方も居ると思うので何でもするのはどうかと思いました。</p> <p>コロナ禍ではありますが状況を見ながらイベントも出ています(他の幼稚園はYouTubeで親が自宅で見ると)コロナ禍が落ち着けばもっとイベントも出来ると思いますが保護者の方々ももっと柔軟に考えても良いのではないかと思いますし色々な機関をネットで検索するなど幼稚園の負担を軽減すべきだと思います。</p> <p>・コロナ禍で行事が中止・縮小・変更になったりと今年度も大変な一年だったと思います。その中で先生方が園児・保護者に対して丁寧に対応して下さっていると感じました。</p> <p>来年度は見学できる行事も増えて保護者も交流できると良いなと思います。</p>
